

「とらや市 箸置き」

「とらや市」（とらや 東京ミッドタウン店ギャラリーにて開催）では、食にまつわる実用的な道具を展示・販売しています。その第7回となる「とらや市 箸置き」を、2019年3月27日（水）～7月15日（月）の期間で開催いたします。



■概要■

日本での箸置き歴史は古く、平安時代にはすでにその原形をみることができます。一方、長い歴史の中では、日常的には用いない時代もありました。今に通じる箸置きが一般に普及するのは、昭和半ば頃のこと。日々の食事に用いる道具として紹介されて以来、食卓を彩り豊かに演出する道具として親しまれるようになります。

本展では、日々の生活における箸置きのさまざまな機能や魅力を、食文化の観点からの解説やエッセイなどを通じてご紹介いたします。

実際にご購入いただける箸置きや関連書籍などと共に楽しみください。

■基本情報■

名 称 : とらや市 箸置き
会 期 : 2019年3月27日（水）～7月15日（月）
時 間 : 11:00～21:00（店舗営業時間と同じ）※無休（東京ミッドタウン休業日に準じます）
場 所 : とらや 東京ミッドタウン店内ギャラリー
（東京都港区赤坂 9-7-4 D-B117 東京ミッドタウン ガレリア地下1階）
電話番号 : 03-5413-3541
協 力 : 東四柳祥子（梅花女子大学准教授）、平松洋子（エッセイスト）〈敬称略〉

■展示の一例■

日本の「箸置き」にまつわる歴史的な展示物を通じ、時代や場面によって、どのように箸置きが使用されていたのかをご紹介します。（解説：東四柳氏）壁面では平松氏による箸置きをテーマにしたエッセイ（『買えない味』（筑摩書房, 2010 年）より抜粋）もご覧いただけます。

■販売品の一例■

木や真鍮、陶器などの様々な素材で、動植物などをモチーフにした箸置きをご用意いたします。また、『買えない味』をはじめとする平松氏の書籍も販売いたします。



■協力■（敬称略）

東四柳祥子（ひがしよつやなぎ しょうこ）

梅花女子大学食文化学部准教授。石川県出身。おもな著書に『近代料理書の世界』（共著）、『日本の食文化史年表』（共編）ほか。比較食文化論を専門とし、2012 年に石川松太郎食文化研究奨励賞を受賞。国内外の料理書文化の研究を行う傍ら、農林水産省食育活動表彰審査委員会委員、日本郵便「和の食文化シリーズ」切手の助言・監修なども務める。

平松洋子（ひらまつ ようこ）

エッセイスト。岡山県倉敷市生まれ。世界各地へ取材に出かけ、食や暮らしをテーマに執筆活動を行う。2006 年に『買えない味』で B u n k a m u r a ドウマゴ文学賞、2012 年に『野蛮な読書』で講談社エッセイ賞を受賞。幅広いメディアへ寄稿するとともに、『平松洋子の台所』、『夜中にジャムを煮る』など、著書も多数。

【とらや 東京ミッドタウン店】

和菓子だけではなく、和の様々な魅力や価値も広くお伝えしたいという思いから、ギャラリーを併設し企画展などを開催しています。

「とらや市」では、生活の中の伝統的な道具の実用性や美しさを、改めてみつめ直すきっかけをお届けしたいという思いから、食にまつわる実用的な道具を展示・販売してまいりました。これまで「ふきんとてぬぐい」（第2回）や、「弁当箱」（第5回）などを開催し、本展で7回目となります。



<取材に関する問い合わせ先>

株式会社虎屋 社長室 東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー7 階 担当：早瀬寛太
電話：03-3408-4128 / FAX：03-3408-6274 メール：kouhou@toraya-group.co.jp